



大雨・強風・台風…日頃からの安全対策をしっかりと!!

台風や集中豪雨では強風や激しい雨が降るため、時として家屋への浸水、河川の氾濫、土砂災害など様々な被害が想定されます。日頃の安全対策と、危険が迫ったときの対策を知っておきましょう。

▶ わが家の風水害対策チェック

- アンテナは錆びたりゆるんでいませんか?
- 屋根瓦やトタンがめくれたり、はがれたりしていませんか?
- 窓や網戸のがたつきはありませんか? 雨戸は閉まりますか?
- 雨どいに枯れ葉や砂がたまっていますか?
- 風で飛ばされそうな庭木はありませんか?
- プロパンガスボンベは、しっかりと固定されているか、配管はぐらついていないか確認しましょう。
- 壁の腐食・浮き・亀裂はありませんか?
- 自転車や植木鉢等は風で飛ばされないよう屋内にしまいましょう。
- ブロック塀は、ぐらついていないか、ひび割れや破損はないか確認しましょう。

危険を感じたら 早めに避難!



天気予報や 気象情報に注意!



不要に外出しない!



こんな
災害
にも注意!

ゴロゴロに要注意! 落雷!!

- ⚡ 雷鳴が聞こえたらすぐに避難
- ⚡ 建物の中や自動車へ避難
- ⚡ 木や電柱から4m以上離れる。

大雨に注意! 水の怖さを知ろう

気象庁から記録的短時間大雨情報が発表されるほどの雨が降ると、災害発生危険が高まります。大雨が予想されるときは水辺に近づかないようにし、気象情報に十分注意してください。

遊佐町での水害・土砂災害事例

河川を多く有する本町では、昔から融雪や豪雨により大きな洪水、土砂災害に見舞われてきました。近年では、1996年6月19日の豪雨により、河川流域の地域で浸水や土砂崩れが発生し大きな被害を受けました。本町では、堤防改修や月光川ダムの建設、がけ崩れ工事等の災害防止策が行われてきましたが、急な大規模水害・土砂災害の発生に備え、日頃から準備をお願いします。



吹浦宿町の浸水の様子(1996年6月19日洪水)



箕輪周辺の浸水の様子(1996年6月19日洪水)

歩ける深さは膝下まで!

水深が腰まであったり、浅くても水の流が速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。
※水の中を歩ける深さはだいたい30cmです。

車が浸水したらすぐ外へ!

水深が30cmに達すると車のエンジンが停止する可能性があり、水深と流速が増すと車ごと流される危険もあります。

避難に遅れたら…

自宅の2階か近くの頑丈な建物の2階以上に逃げましょう。

避難するときは、ひもで締められる運動靴などを履きましょう!



こんな前ぶれ現象に注意！ 土砂災害から身を守る！！

一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や強雨が続いたときなどに発生するとされています。次のような現象を察知した場合は、直後に土砂災害が起こる可能性がありますので、直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。

時間的切迫性

<ul style="list-style-type: none"> ● 流水の異常なにごり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 流木が発生 ● 溪流内の転石の音 	<ul style="list-style-type: none"> ● 降雨時での水位の低下 ● 山鳴り・地鳴り 	<h3>土石流</h3> <p>山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 湧水量の増加 ● 井戸水のにごり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 亀裂の発生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 山鳴り・地鳴り 	<h3>地すべり</h3> <p>雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象</p> <p>※地すべりの予測は技術的に困難であり、土砂災害警戒情報の発表対象となっていないので注意してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 湧水量の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小石がぼろぼろ落下 ● 湧水がにごる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小石がぼろぼろ落下 ● 亀裂の発生 	<h3>がけ崩れ</h3> <p>雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象</p>

避難の警戒レベル

水害・土砂災害の恐れがある際には、「警戒レベル」を用いた避難情報が発令されます。警戒レベル3・警戒レベル4が発令された際は、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう！
 ※レベル5は、すでに災害が発生していることを把握した場合、可能な範囲で発令されます。
 ※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。また、必ずしも段階的に、レベル1から順に発令されるとは限りません。

災害の危険度	警戒レベル	住民がとるべき避難行動	避難情報と気象情報	情報発信
高	警戒レベル5	すでに災害が発生しています 命を守るための最善の行動をとってください	避難情報 災害発生情報 気象情報 大雨特別警報・氾濫発生情報	市町村が発令
	警戒レベル4	全員 避難	避難情報 避難勧告・避難指示(緊急) 気象情報 土砂災害警戒情報・氾濫危険情報	
	警戒レベル3	高齢者 障がい者 乳幼児 と その支援者は避難 その他の住民は準備	避難情報 避難準備・高齢者等避難開始 気象情報 大雨・洪水・氾濫 警報情報	
	警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより 自らの避難行動を確認	気象情報 大雨・洪水・氾濫 注意報	気象庁が発表
低	警戒レベル1	防災気象情報などの最新情報に注意するなど、 災害への心がまえを高める	気象情報 早期注意情報 (警報級の可能性)	